

海岸漂着ゴミ実態把握調査結果（速報）の概要

1 調査内容

- ・ 海岸に面する全市区町村（664 市区町村）を対象とし、協力を要請。
- ・ 各市区町村は、管内で調査地点を偏りの無いように 6 箇所選定し、各箇所で行う。
 - ① ゴミ漂着状況を写真撮影
 - ② 目視によるゴミ漂着量の推測
- ・ 調査に当たっては、JEAN/クリーンアップ全国事務局、特定非営利活動法人パートナーシップオフィス及び国土交通省が協働で開発した「水辺の散乱ゴミの指標評価手法（海岸版）」を用いる。

2 調査期間

- ・ 平成 18 年 10 月 31 日から同 12 月 8 日まで

3 有効サンプル数

- ・ 606 市区町村、3,250 地点
(海面に面する全市区町村の約 91%、期待される調査地点数の約 82%)

4 結果

- ・ 全国レベルでの海岸漂着ゴミの分布状況が把握できた。
- ・ 調査時点において全国の海岸に漂着していた人工系ゴミの総量は、体積：14 万 8 千 m^3 、重量：2 万 6 千トンと推計される。
- ・ 海岸漂着ゴミの分布は、地域的偏在が大きく、特に九州地方北部、東北地方北部などの付近に漂着ゴミが多くなっている。